

群馬大学生体調節研究所 代謝シグナル学セミナー

『システインSH基の翻訳後修飾による 炎症反応の増幅機構』

講師：金木正夫 先生（Harvard Univ. Associate Prof.）

日時：7月1日（月）16:00 – 17:00

場所：生体調節研究所・1階会議室

細胞内情報伝達と臓器間相互作用は複雑なネットワークを形成し、負のフィードバック機構を通じて生体の恒常性維持に寄与している。一方、糖尿病、動脈硬化、神経変性疾患、重症感染症など様々な病的状態の進展には炎症反応の増幅機構 (inflammatory spiral) が関与している。炎症反応の増幅 (正のフィードバック) 機構におけるシステインSH基の翻訳後修飾 (ニトロソ化、ファルネシル化) を介した細胞内シグナル伝達の役割と、ニトロソ化やファルネシル化を分子標的とした新たな治療法の可能性について議論したい。